

議 事 録

会議等の名称	第1回東部地区小学校給食センター 建設検討委員会	開催日時	令和6年7月8日（月） 午後7時00分 ～ 午後8時40分
		場 所	中央公民館 学習室5
主催者(事務局)	教育委員会事務局 教育課 学校施設係	司会者	事務局
出席者	（敬称略） 【委員】小林佑次、佐藤公美、白石隆宏、岡部春希、龍野正和、鹿取ちか、田中章子 正村千香、荻原理子、五十嵐英美、柳沢幸子、竹村洋子、白井 哲、佐橋真意、依田昌弘 【東御市教育長】山口千春 【事務局】深井芳信、土屋岳史、小宮山真二、小林靖宗、内村友香		
欠席者	【委員】森澤隼門、宮下 聡、西澤正浩		
議 題	（議題） (1) 東部地区小学校給食室の現状 (2) 目指す施設整備計画 (3) 北御牧学校給食センター視察について		
決定事項 （要点を箇条書き）	・役員の選任 委員長：龍野正和（田中小学校長） 副委員長：正村千香（栄養教諭代表） ・当委員会としては、給食センター化を目指しよりよい施設となるよう話し合っていく。 ・当委員会としては、給食センター建設予定地は田中小学校周辺でよい。		

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	この会議については公開で行われますのでご了承ください。
		また、委員の皆様の氏名についても公表することによいか。
	委員全員	了承
		1 開 会
	事務局	開会・進行
		2 教育長あいさつ
	教育長	あいさつ
	事務局	東部地区小学校給食センター建設検討委員会設置要綱（資料P11）について、
		設置の目的等を資料に基づき説明。
		3 委員紹介
	委員及び事務局全員	委員自己紹介
		4 役員の選任
	事務局	役員についてですが、設置要綱第5条のとおり、委員長は委員の互選によ
		り選出し、副委員長は委員長の指名となります。委員長について、どなたが
		よろしいか意見はあるか。
	委員	学校の代表であり、現在検討されている建設予定地が田中小学校周辺と
		いうことなので、田中小学校長の龍野校長がよいと思う。
	事務局	ただいま龍野校長がよいとの意見をいただきましたがいかがか。
		それでは、龍野校長に委員をお願いするということによいか。
	委員全員	了承（龍野委員は委員長席へ移動）
	事務局	続いて副委員長ですが、龍野委員長指名をお願いします。
	委員長	それでは、栄養教諭代表の正村委員を副委員長に指名します。
		（正村委員は副委員長席へ移動）
		5 会議事項
	委員長	（1）東部地区小学校給食室の現状について、事務局説明をお願いします。
	事務局	（1）東部地区小学校給食室の現状と（2）目指す施設整備計画は、関連が
		ありますので併せて説明します。
		（1）東部地区小学校給食室の現状と（2）目指す施設整備計画について、
		資料に基づき説明（資料P2～10）
	委員長	事務局から説明がありましたが、まずは質問はあるか。
	委員	資料P5にある必要面積は、北御牧のセンターを参考にしたのか。
	事務局	北御牧学校給食センターの提供数1名当たりの面積を算出して、各校
		の提供数に乗じて算出している。
	委員	床構造について、ドライ方式、ウェット方式の違いはなにか。

討議内容及び経過	事務局	ウェット方式とは床が濡れることを前提とした構造で、ドライ方式は
		濡れずに乾いていることを前提とした構造です。。雑菌は、湿ったところ
		を好み増殖するため、現在ではウェット方式の給食室でも極力床を濡らさ
		ないよう調理するドライ運用で行っている。
	委員長	続いて、ご意見はあるか。
	委員	建設予定地が田中小学校周辺とのことだが、通学路になっているため
		安全面に配慮してほしい。
	事務局	通学路を配送トラックが運行しますが、通学路とは分離することで安全
		を確保する計画です。
	委員	子どもは体験したことは忘れないと聞いたことがある。現在、自分達で
		育てたイモを給食室で調理して食べる。センターになっても、食育として
		そういったことは続けてほしい。
	委員	残菜についての説明があったが、滋野小学校は多いと感じた。
	委員	保育園では、給食センター化のことを知らない人が多い。保育園でも
		説明会が開催されるようだが、保育園に対しても情報発信してほしい。
	事務局	保育園でも説明会を開催し、情報についてもHP等で公表させていただく。
	委員	調理員として、現在子どもの近いところで調理できることがうれしく、
		センター化して見えなくなることはさびしいが、センター化になっても
		子どもたちに喜ばれる給食を提供したい。
	委員	先日、滋野小学校の調理を視察したが、ハンバーグも一つ一つ手作り
		し、野菜もしゃきしゃきになるような努力がされていた。資料の残菜量
		をみて、自分たちがやってきたことは間違っていなかったと感じた。
	委員	栄養教諭として自分も給食センターを経験し、それぞれのメリットと
		デメリットは理解している。衛生管理基準を満たしていない施設で、安全
		な給食ができていることは、調理員の努力で賄われていると思う。
		細菌は、湿ったところで増大し、事故があるたびに様々な制限が増えて
		そのたびに調理員の努力で工夫して対応してきているのだと思う。
		アレルギー対応室がない施設で、アレルギー対応を行うことは難しい。
		この場で出た意見を、どうしたら実現できるかを考えていきたい。
	委員	栄養職員だったが、衛生管理基準を満たしていない施設で調理することは、
		本当に調理員の努力で何とかなっているのだと思う。衛生管理基準を満たし、
		より安全な給食を作ってほしい。
		食育においては、給食センターでできることを考えていけばよいと思う。
		アレルギー対応についても、作る人、子どもに直接かかわる先生との連携
		が必要だと思うので、コミュニケーションをとって安全に取り組んでほしい。
	委員	設計について、参考としている施設はあるのか。

討議内容及び経過	事務局	先日、栄養教諭と調理主任において、安曇野市中部給食センターを視察
		したが、当市の参考になると考えている。
	委員	給食センターにした場合に、受け入れ先の状態が気になる。配送先に
		冷蔵庫のようなものがないと食材の痛みや冷たくなってしまわないか。
	事務局	基本的には、調理終了から2時間以内に子どもが食べることを計画して
		いる。配送することで、調理終了から食べ始めるまでの時間が延びることは
		事実ですが、保温保冷食缶等によって対応したいと考えている。
	委員	ランニングコストは考えているのか。調理において、どのような作業工程
		となって、どの程度の既製品を使用することになるといったことを考えて
		から設計を行ったほうがよいのではないか。
		また、アレルギーについて、友人に重度のアレルギーの子どもがいるが、
		アレルギーについては、この施設だから安心といったことにはならないと
		思う。
	委員	アレルギー食対応については、単独のアレルギーであれば給食室でも対応
		できますが、複数のアレルギーを持つ場合は、病院食ではないので対応は
		できないと思う。
	委員	現在のアレルギー食対応については、東御市の基準に基づき行われ、
		除去なのかお弁当なのかによって対応しているが、例えば調味料関係にアレ
		ルギーをお持ちの方については、安全面を考慮して提供はできないし、給食
		センターになっても同様の取り扱いだと思う。国の基準においても安全面
		から難しいとされている。
	委員	給食センターになると既製品を多く使うといったイメージを持つ方がいま
		すが、やり方によって給食センターでもきちんと手作りができるので、人員
		体制や設備を考えていけばいいと思う。こういった場で、食育や地産地消
		も含めてどういったことをしてほしいといった要望を出して、みんなででき
		る方法を考えていけばいいと思う。
	委員	現在、給食室では地域のおいしいジャガイモを使って、お芋のめとりから
		調理しコロッケなどを手作りしている。今までどおり地産地消を進めるため
		にも、施設整備や人員体制も考えていけばいいと思う。
	委員	恵方巻の時期になると、調理員さんが一本一本手作りしてくれて子どもた
		ちはとても喜んでいる。また、自校給食だと給食を作ってくれる人と子ども
		たちの距離感が近いと思うが、給食センター化しても定期的に調理員が学校
		に行って子どもたちと話していただければよいと思う。
	事務局	ランニングコストの質問に関しまして、熱源や設備によって大きく変わる
		ため、試算できていない。現在、基本設計を進めていますが、原則として
		今できていることは継続できることで検討している。アレルギーや食育に

討議内容及び経過		関する意見がでていますが、この委員会ではまさにそういった部分のご意見をいただく場だと考えている。
	委員	温かいものは温かく、冷たいものは冷たくが基本となると思うが、自校方式による調理しているときのにおいは魅力的だとは思う。
		調理するうえで、搬入、保管、下処理、料理、配膳といった動線づくりは力をいれて行ってほしい。
	事務局	衛生管理基準を考えたうえでも動線づくりは重要と考えている。現在、基本設計を進めていますが、来たものが帰ることがないよう一方向の動線を考えている。
	委員	現在学校での調理を考えると、老朽化した施設でアレルギー食まで対応しており施設更新のタイミングだと思う。自校方式、給食センターどちらであっても、子どもたちは作ってくれる人のことを考えながら喜んで食べてくれると思うし、食育も工夫次第だと思う。
	委員	現在の給食室では、鶏肉の油を丁寧に取り除いていることに驚いた。その中で調理員と話すと、もっと給食に対する要望や意見がほしいといった声があり、子どもたちのための努力をすごく感じる。自校方式であってもセンターであっても作る調理員が変わらない以上、そこは変わらないと思う。
		どうしてほしいのか、どうしたらそれができるのか、みんなで考えていけばよいと感じた。
	委員	炊飯形態を見ると、東部地区小学校はすべて委託炊飯になっている。センター方式になった場合、炊飯もそこで行うと考えてよいのか。
	事務局	現在の検討段階では、炊飯も給食センターで行えるよう進めていますが、その部分についてもこの組織においてご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。
	委員	自校方式といっていると炊飯も当然自校でやっていると思っている人も多いと思う。センター化によってそれができると思うと、センター化の必要性も出てくると思う。
	委員	地産地消について、ジャガイモや玉ねぎはもっと向上できると思う。生産者と給食を仲介できる中心的なものがあればもっと上がると思う。
	委員長	給食センター化するかどうかは教育委員会が決定することですが、当委員会としても、整備方針は給食センター化としてよいか。合わせて、当委員会で出された意見、これから出される意見を基によりよい給食センター化を目指して話し合いを進めていくことでよいか。
	委員全員	了承
	委員長	(3) 北御牧学校給食センター視察について、事務局説明をお願いします。
	事務局	(3) 北御牧学校給食センター視察について、今後協議を進めていく参考と

討議内容及び経過		するため、様々な制限はあるが要望によって北御牧学校給食センターの内部
		や調理風景の視察、また、配送される実際の給食の試食などを考えているが
		いかがか。
	委員長	この件に関してご質問等はなにかあるか。
	委員全員	特になし
		6 その他
	事務局	再度の確認ですが、今後この検討委員会では給食センター化を目指して話
		し合いを進めていくということによろしいでしょうか。また、建設予定場所
		については田中小学校北側周辺で決定し、検討させていただくこととしてよ
		いでしょうか。
	委員全員	了承
	事務局	また、この委員会の開催時間についてですが、今後も夜の時間帯での開催
		でよいか。
	委員	会議の開催頻度はどの程度か。
	事務局	今年度は4回程度を予定している。
	委員全員	了承
		7 閉会
	事務局	閉会

議 事 録

会議等の名称	第2回東部地区小学校給食センター 建設検討委員会	開催日時	令和6年8月6日（火） 午後7時00分 ～ 午後8時40分
		場 所	東部人権啓発センター
主催者(事務局)	教育委員会事務局 教育課 学校施設係	司会者	教育課長
出席者	（敬称略） 【委員】 小林佑次、佐藤公美、白石隆宏、森澤隼門、岡部春希、龍野正和、鹿取ちか 田中章子、正村千香、荻原理子、五十嵐英美、西澤正浩、柳沢幸子、竹村洋子、白井 哲 佐橋真意、依田昌弘 【東御市教育長】 山口千春 【事務局】 土屋岳史、小宮山真二、小林靖宗、内村友香 【榊宮本忠長建築設計事務所】 荻原 白、山田将光、中澤太一		
欠席者	【委員】 宮下 聡 【事務局】 深井芳信		
議 題	（議題） (1) 米飯炊飯について (2) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について (3) その他		
決定事項 (要点を箇条書き)	・当委員会としては、給食センターにおいて米飯炊飯を計画していくこととする。 ・会議資料は、提供できるものはできる限り早く提供する。 ・次回以降の会議では、前回議事録を用意する。		

討議内容及び 経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	この会議については公開で行われますのでご了承ください。
		基本設計の請負業者である株式会社宮本忠長建築設計事務所関係者に出席
		いただいています。
		1 開 会
	事務局	開会・進行
		2 教育長あいさつ
	教育長	あいさつ
		3 会議事項
	委員長	(1) 米飯炊飯について、事務局説明をお願いします。
	事務局	(1) 米飯炊飯について、資料に基づき説明（資料P 1～3）
		国による統計調査で「自校炊飯」とされているため資料の一部では「自校
		炊飯」となっているが、自校や学校給食センターで炊飯設備を整備して炊飯
		する形態を「自場炊飯」とします。
	委員長	事務局から説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	農協として、地元のお米、野菜の供給など地産地消の取り組みに協力し
		たい。
	委員	これまでなぜ委託炊飯だったのか。
	事務局	給食室のスペース、設備の関係から委託炊飯としていた。
	委員	米飯給食は週1回で家からご飯を持参することからスタートしたが、
		子ども達からご飯が冷たいといった話や、献立の多様化が進みご飯の日を
		増やすことになったが給食室にはスペースがなく委託炊飯となった。
	委員	必要経費について、委託炊飯は配送料を見込み、自場炊飯では配送料を
		見込んでいないが理由はあるか。
	事務局	米飯を委託とするか自場とするかに関わらず、主菜や副菜は配送が必要
		となるため含んでいない。
	委員	取り扱うのは全量東御市産米となるのか。滋野産米や和産米といった
		特定の産地のお米も提供できるのか。また、これまで委託していた民間
		業者へは影響ないのか。
	事務局	原則としては東御市産米を提供したいと考えていて、農協と連携して行う
		予定だが、こういった提供が可能かは今後協議していく予定です。
	委員	信州うえだ農協だけで全量提供できるのか、北御牧地区の佐久浅間農協
		や大規模農家と協力すれば、産地を滋野や和といった明確な区分も可能だ
		と思う。詳細は今後協議したい。
	事務局	委託炊飯については、民間業者と直接契約を交わしておらず、学校給食
		会と契約を交わしているため、影響はないものと考えます。

討議内容及び経過	委員	農協がお米を供給する場合、すべて東御市産米となるのではないのか。
		また、試算では週４日の米飯となっているがそのようになるのか。
	委員	佐久浅間農協管内には北御牧地区が含まれるため、そこのお米を使用し
		てといったこともできると思う。
	事務局	週４日の米飯についてですが、試算にあたって基準となる日数が必要
		であるため週４日としたもので、週４日と決めたものではない。今後、
		食育等を協議していく中でそのような希望があるようであれば検討して
		いく。
	委員	試算にある米70gは生米か。また、何日分のお米が備蓄できるのか。
	事務局	70gは生米で、炊いたご飯にすると約150gとなる。
	事務局	備蓄量については、現在のところの設計としては４日分です。
	委員	委託炊飯では学校へ直接配送されるため、具材を混ぜるという行為が
		難しくなる。学校の給食を食べる機会が多いが、自場で炊いたお米は
		とてもおいしい。
	委員	どこで作っても、配送があったとしても、おいしいものを作りたいと
		調理員みんなが考えている。
	委員	混ぜご飯の話聞いて、子ども達も自分自身も楽しみに思った。
	委員	試算の中で、運営費（自場炊飯に係る人件費、保守管理費、修繕費、
		光熱水費）が数年に１回20万円程度増加しているがこれはなにか。
	事務局	炊飯にあつては釜をつかって行うが、焦げ付かないように内側に加工
		がされている。これを２～３年に１回塗りなおすメンテナンスがある。
	委員	保育園はご飯持参なので、ご飯が提供されるだけでもありがたいが、
		自場となるとリスクが増えるのか。
	事務局	資料にあるリスク分散の部分については、大規模な停電や災害により
		調理そのものができなくなることを想定していて、委託炊飯であれば
		そういったことであっても主食だけは提供できるといったことを想定
		している。
	委員	佐久市の学校にいた際に、委託炊飯業者が廃業した経験がある。この
		時は近隣に他の業者がなく上田市から配送してもらうことになった。
		自場で炊飯ができるのは安心だと思う。
	委員	献立を立てる上で給食費が心配になるが、委託炊飯の場合、お米代
		に炊飯料と炊飯シートを支払っている。自場炊飯は設備費はかかるが、
		給食費に影響のあるのはお米代のみとなるため、献立もたてやすいと
		思う。
	委員	大雪が降り物流がストップしたとき、食材はストップしたがふりかけ
		の持参だけお願いしてご飯は提供した学校がある。子どものことを考え

討議内容及び経過		ると、温かいおいしいご飯が食べられることだと思う。
	委員長	当委員会としては、基本的には自場で米飯炊飯する方向で計画していく
		こととしてよいか。
	全委員	了承
	委員長	(2) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について、事務局説明を
		お願いします。
	事務局	(2) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について、資料に基づき
		説明（資料P 4～5）
		本日は、基本設計をお願いしている設計業者に同席をいただいている。
		まだ決定はしていませんが、現在のところの設計内容の説明をお願い
		します。
	設計事務所	基本設計について、計画図面等に基づき説明
	委員長	事務局から説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	ここで働く職員は何人か。駐車場が足りないのではないか。
	事務局	当初、4 小学校で働いている職員20名を想定してたが、米飯炊飯を
		行うことなどによりさらに増員が必要となる見込みです。ついては、
		駐車場の計画を見直す必要がある。
	委員	アレルギー室について、お米のアレルギーがなくてもお米はアレルギー
		室で炊くのか。
	委員	混ぜご飯などの時にアレルギー物質が混入する恐れがあるときはアレルギー
		室で炊くが、通常は一緒に炊いている。
	委員	作業区域を分けることで、火災があった際の避難経路などはどのように
		なるのか。
	設計事務所	避難の際はどのようにするのかといった部分は、消防署と協議して
		決定していく予定です
	委員	食品庫や備蓄庫が狭いように感じるが、調理を行う方にとってはいか
		がか。
	事務局	学校給食の理想は、食材は当日入荷となっているので、食品庫には調味
		料といったものが主に保管される。
	委員	この設計で予算の範囲内で収まるのか。
	事務局	現在の設計は、現場で働く栄養教諭や調理主任の方と一番理想的なもの
		として設計したものになっている。この設計に対してどの程度の費用が必要
		となるのかといったものが試算されるため、そこから予算に応じて見直しを
		行っていくことになる。
	委員	米飯炊飯については、重いお米を取り扱うのは大変だと思うが工夫はある

討議内容及び 経過		か。
	事務局	お米を投入すると自動で洗米から炊飯までを行う設計となっている。
	委員	これだけ広い施設となると掃除が大変だと思うがいかがか。
	委員	これだけの施設を衛生的に保つことは大変なことだと予想している。少しでも掃除しやすいように設計を考えてきた。例えば、洗浄エリアを室として
		区分してしまうと掃除がしにくいいため、区分せずコーナーとするといった
		工夫をしている。
	委員	調理方式は、ガスなのか蒸気なのか。
	事務局	蒸気が基本とはなるが、調理員の意見により一部をガスとするといった
		設計をいっている。
	委員長	多くの意見ありがとうございました。ここで出た意見を事務局において
		検討し、設計への反映をお願いします。
	委員長	(3)その他ついて、事務局説明をお願いします。
	事務局	改めて設計内容を見ていただき、本日出された意見以外あったら個別に
		お知らせいただければ対応する。
		基本設計は10月ころまでの予定で、大きな問題がなければ実施設計に進み
		ランニングコストの部分も実施設計に進まないと正確なものが出ないため、
		しかるべきタイミングで実施設計に進みたい。
		4 その他
	事務局	その他としてなにかあるか。
	委員	会議資料について、当日見て判断するのが難しいため少しでも早く提供
		してほしい。
	事務局	提供できるものについては、できるだけ早く提供する。
	委員	前回議事録があると効率的な会議ができると思う。
	事務局	次回以降は用意する。HPにも掲載していますので確認をお願いしたい。
		5 閉会

議 事 録

会議等の名称	第3回東部地区小学校給食センター 建設検討委員会	開催日時	令和6年11月27日（水） 午後7時00分 ～ 午後9時15分
		場 所	中央公民館3階 講堂
主催者(事務局)	教育委員会事務局 教育課 学校施設係	司会者	教育課長
出席者	（敬称略） 【委員】小林佑次、佐藤公美、白石隆宏、龍野正和、鹿取ちか、田中章子 宮下 聡、正村千香、荻原理子、五十嵐英美、西澤正浩、竹村洋子、白井 哲 佐橋真意、依田昌弘 【東御市教育長】山口千春 【事務局】深井芳信、土屋岳史、小宮山真二、小林靖宗、内村友香		
欠席者	【委員】森澤隼門、岡部春希、柳沢幸子		
議 題	（議題） (1) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について (2) 食育の取り組みについて (3) 地産地消の取り組みについて (4) アレルギー食対応について (5) その他		
決定事項 (要点を箇条書き)	・基本設計の内容を確認した。 ・食育、地産地消およびアレルギー食対応の現状を確認した。		

討議内容及び 経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	この会議については公開で行われますのでご了承ください。
		1 開 会
	事務局	開会・進行
		2 教育長あいさつ
	教育長	あいさつ
		3 会議事項
	委員長	(1) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について、事務局説明を
		お願いします。
	事務局	(1) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について、資料に基づき
		説明
	委員長	事務局から説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	器具洗浄コーナーに 1 と 2 があるのはなぜか。
	事務局	器具洗浄コーナーは、汚染作業区域と非汚染作業区域にそれぞれあり、
		区域を行き来することなく洗浄するために設置している。
	委員	作業動線の検討は進んでいるか。また、細かい備品などのサイズなども
		考えたうえで作業動線を考えてほしい。
	事務局	作業工程および作業動線については、県の指導もあり大まかな焼物、
		揚げ物、炒め物は作成し検討済みです。今後、詳細な献立のものについて
		も作成し確認していく。
	委員長	(2) 食育の取り組みについて、事務局説明をお願いします。
	事務局	(2) 食育の取り組みについて、資料に基づき説明
	委員長	ここで、各学校で行われている食育の取り組みについて、各学校長から
		紹介します。
	各小学校長	各小学校で行われている食育の取り組みについて、別紙食に関する指導
		の全体計画に基づき各小学校長から紹介
	委員長	それぞれ説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	センターになった場合、給食関係者と子どもたちの関わりが少なくなる
		と思う。北御牧センターのような給食関係者が学級に入り共食する取り組
		みをできる限り多く行ってもらえるとありがたい。
	事務局	給食関係者が配送車に乗って学校の様子を見るなどの取り組みなどを
		検討している。
	委員長	(3) 地産地消の取り組みについて、事務局説明をお願いします。
	事務局	(3) 地産地消の取り組みについて、資料に基づき説明

討議内容及び経過	委員長	事務局から説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	以前、JAが農家と学校をつなげる取り組みのテレビを見た。スーパーに
		出荷できないものを給食側で受け入れてくれるというもので、どの規格
		までなら受け入れできるといった仲介するコーディネーターのような存在
		があれば双方にメリットがあるのでないか。
	委員	農協も人手が少ない中で、地域政策に力を入れ地産地消が大きな役割
		だと考えている。4小学校がまとまることで、これまでにない量が必要と
		なるため大規模農家との連携も必要になると思う。農協で担うことは難し
		いが、生産者、農協、学校の橋渡し役となるようなものがあればありが
		たいと思う。
	委員	食の安全に興味がある。何をもって安全かは様々あると思うが、セン
		ター化するにあたり、少しオーガニックを取り入れてみるとかしたら
		どうか。
	委員	子どもが口にするため無農薬のものは確かに良いが、給食のみに出荷
		している生産者はなく、費用の面で難しい。虫の関係や規格の関係で
		消費者の要望は高く、現実的には難しいと思う。以前、スーパーへ出荷
		するための組織があったが、今後「学校給食会」といった学校給食への
		出荷団体を立ち上げたいと考えている。
	委員	以前勤めていたところで、給食センターへの納品は規格が厳しいとの
		話を聞いたことがある。生産者側として気候などによって安定供給が
		難しい時もあり、給食側がほしいものがスムーズに供給できる仕組みが
		あるとよいと感じた。
	事務局	すべての品目の地産地消向上は難しいと感じている。生産量の多い
		ものや保存のきく品目への取り組みから進めることになると思う。
		コーディネーターのようなものを設置するとすれば片手間ではでき
		ないと思うので、今後仕組みづくりを検討したい。
	委員	毎月農協が出荷可能なものを給食側へ情報提供している。市内の
		学校・保育園から発注があるため、大量に準備でき欠品にならないよう
		なものを選定している。給食側への納品が安いとの話があったが、金額
		はこちらから提示しているものであるため安いということはない。
	委員	例えば、ブロッコリーを旬の時期にゆでて冷凍保存して給食で使うこ
		とはできないのか。
	委員	給食の衛生管理基準上でできないと考える。佐久市に、冷凍カット
		トマトを取り扱っている業者があるが、そういった一次加工したもの
		を使うといったことはある。

議 事 録

会議等の名称	第4回東部地区小学校給食センター 建設検討委員会	開催日時	令和7年2月27日（木） 午後7時00分 ～ 午後8時25分
		場 所	中央公民館3階 講堂
主催者(事務局)	教育委員会事務局 教育課 学校施設係	司会者	教育課長
出席者	（敬称略） 【委員】小林佑次、森澤隼門、岡部春希、龍野正和、鹿取ちか、田中章子 宮下 聡、正村千香、荻原理子、五十嵐英美、西澤正浩、柳沢幸子、竹村洋子 白井 哲 【東御市教育長】山口千春 【事務局】深井芳信、土屋岳史、小宮山真二、小林靖宗、内村友香		
欠席者	【委員】佐藤公美、白石隆宏、佐橋真意、依田昌弘		
議 題	（議題） (1) 食物アレルギー対応について (2) その他		
決定事項 （要点を箇条書き）	・東部地区小学校給食センターにおいては、献立の変更、使用食材の変更及び食物アレルギーの種類を工夫すること等により、これまでと変わらない給食提供をすることを基本方針とする。		

討議内容及び 経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	この会議については公開で行われますのでご了承ください。
		1 開 会
	事務局	開会・進行
		2 教育長あいさつ
	教育長	あいさつ
		3 会議事項
	委員長	(1) 食物アレルギー対応について、事務局説明をお願いします。
	事務局	(1) 食物アレルギー対応について、資料に基づき説明
	委員長	事務局から説明がありましたが、ここで各校で行われている食物アレルギー
		対応について説明をお願いします。
	委員	田中小学校でも医師の指導表に基づき、個別取組プランを作成している。
		給食だけではなく、学校生活そのものに対する要望もあるため、調理実習や
		宿泊学習の対応も行っている。その他にも、教室掲示用のアレルギー対応を
		記載した献立表作成・掲示することで、担任が休みであっても一目でわかる
		工夫をしている。
		また、エピペン使用の児童のランドセルの横に、どこにエピペンが入って
		いるかを掲示して、万が一のときにすぐに対応できるようにしている。
		献立作成に関しても、担当栄養教諭だけでなく別の学校の栄養教諭にも
		確認いただき、ダブルチェックしている。配膳の際には、配膳室において
		栄養教諭から担任へ対応食を手渡し、担任が対象児童の机に置き、その後、
		養護教諭、栄養教諭がそれぞれチェックすることとしている。
	委員	滋野小学校においても、個別カゴに入った対応食を担任が持っていくことと
		している。
	委員	柵津小学校では、その他に校長の検食の際に、調理主任からアレルギー対応
		内容の説明を受けている。
	委員	和小学校においても、人数が少ない中で細かな対応がある。実際に、エビ
		カツの代替食としてトンカツの提供があり、子どもたちも喜んでいた。
	委員	調理員同士でアレルギー知識の共有が大事だと思う。
	委員	子どもがまだ食べたことのない食材の場合、その都度窓口に行ってどんな
		食材かを確認することはセンターになってもできるのか。
	事務局	事前に連絡をいただければ対応は可能です。加工品の場合には、業者から
		成分表を取り寄せているため、そういったものの提供も可能です。
	委員	大雪などの災害の際に、献立が急遽変わるといったこともあると思うが、
		そういった場合のマニュアルはあるのか。

討議内容及び経過	事務局	給食を提供できないといった場合の危機管理マニュアルがある。仮に急な
		献立の変更がある場合には、アレルギー対応がないものを提供することになる。
	委員	アレルギー対応児童には、新しい加工品や冷凍食品がある場合には、成分表
		を保護者に確認してもらっている。
	委員	エピペンとはなにか。過去にアレルギーによる事故の例はあるのか。
	委員	深刻なアレルギー症状がある場合に、症状を緩和させるために使用する自己
		注射のようなものです。
	委員	使用方法に関しては、各校において職員へ研修をしている。
	委員	国の指針作りに携わったことがあるが、例として乳アレルギーの児童が
		チーズを食べ症状を発症し死亡してしまった事故があった。この事故は、
		代替食としてチーズの入っていないものを提供していたが、通常食をおかわり
		してチーズ入りの給食を食べてしまったことによるもので、
		・通常、アレルギー対象児童はおかわり禁止なところおかわりしたこと
		・教職員がチーズが入っていることを失念したこと
		・献立名に「チーズ入り」といったわかりやすい表記にできなかったこと
		・児童がエピペンを打つことを拒みそれに教職員が従ってしまったこと
		・動かしてはいけないところ、トイレに行きたいとの申し出で行かせたこと
		など、悪いことが偶然に重なってしまったことによる事故だった。
	事務局	東御市には救急搬送が伴うような事故はないが、給食で初めて食べた果物で
		かゆみを訴えた例はある。そういった場合は、保護者と面談し対策を検討して
		いる。
	委員	子どもはどんな行動するかわからないときがある。先生の見ていないところ
		で、自分で勝手に食べてしまうといったこともあると思うが、そのあとの対応
		ができる体制を今後も整えてほしい。
	委員	昔の学校給食では、クルミや蕎麦くらいの対応で、また、代替食を提供する
		といったこともなかった。アレルギーも多様化している中でアレルギー対応を
		細かく対応するようになっており、大変な仕事だと思う。おいしい給食は作れば
		良いというわけではなく、衛生管理、健康状態に合わせた提供を行っており
		すごい労力と知恵でやってもらっている。
	委員	北御牧学校給食センターを見学した際に、非常に細かく対応していると感じ
		た。アレルギーも時代とともに変化していくと思うので、毎年確認するような
		マニュアル作りが必要と思う。
	委員	細かく対応してもらっているとは思いますが、アレルギーを持つ親や子はすごく
		怖いと思う。丁寧な対応をお願いしたい。
	事務局	毎年個別取組プランを更新し、対応を行っている。センター化にあたっても
		変わらず保護者、学校、給食関係者が連携して行っていきたい。

討議内容及び経過	委員	調理に関しては、すごく気を使って調理されている。センター化にあたって
		は、受配校での受け渡しが重要になると思う。
	委員	人員配置については、稼働してから必要な部分や足りない部分がかかること
		もあると思う。現場が過度な負担とならないように配慮してほしい。
	事務局	受配校との受け渡しに関しては、マニュアル化などにより体制を整えたい。
		人員配置についても、先進事例を参考に検討するが運用していく中で修正
		は必要になると考えている。
	委員	検食の話があったが、現在は各校の校長が行っているとのことだったが、
		センターになった場合はだれが行うのか。
	事務局	センターになった場合でも、給食センターの中だけではなく受配校において
		も検食を実施することとなる。
	委員	農作物の供給側としては、徹底した防除対策を行い、農薬は使用しているが
		防除日誌により安全を確認したうえで学校に供給している。子どもたちの人体
		影響のないように危険な農薬を排除していきたい。生育には化学肥料が必要
		だができるだけ有機質肥料を使った栽培に取り組みたい。
	委員	自分が子供のころに残さ〇活動があったが、これは食べられないのに頑張
		って食べてしまうといったこともあると思う。先生と子どもで自己意識を
		高めるために、確認できる機会があれば事故が防げるのではないかと思う。
	事務局	各校で残食〇を目指している。残食〇を目指して無理しておかわりをして
		事故が起きている事例もある。学校全体で、無理な残食〇を目指すことがない
		よう安全管理を行っていききたいと思う。また、家庭との連携も重要となる。
	委員	先生だけではなく、子どもたち同士においても友達のアレルギーを把握する
		ことも重要だと思う。
		4 その他
	事務局	本日が今年度最後の会議となる。組織の代表として参加いただいているPTA
		や保護者会連合会については、4月以降に新しい代表者へ推薦依頼を行うので
		引継ぎをお願いしたい。
		5 閉会